

14人の議員が38項目の質問を行い、
町長の考えをいただきました。



成田市ナンバープレート

兼山 益大 議員
まちぐるみ

住吉 秀公 議員
防犯灯の整備

Q 町が設置せよ

A 設置基準に基づき対応する

【質問(議員)】 防犯灯の整備は、自治会が設置し、町がその費用の一部を補助する方式が主流となっている。今後は町がすべて設置してはどうか。

【答弁(町長)】 自治会や住民の皆さんの要望により、町が定めている設置基準に該当する場所については町が設置する。それ以外の場所については、町の補助金を活用して、自治会で設置していただく。

【質問(議員)】 自治会が設置している防犯灯を町が買い取り、電気使用料を町が負担してはどうか。

【答弁(町長)】 自治会設置の防犯灯を買い取することはできないが、町の設置基準に該当する防犯灯については、無償での町への移管に向けて、実態を把握していく。

Q PTAの負担軽減を

【答弁(議員)】 未だにPTA会費で、学校経営に係る備品などの購入が行われている。今後は全額公費で購入できるよう、学校教育費を大幅に増額してはどうか。

【答弁(教育長)】 学校備品などの購入については、学校と連携し、教育活動が円滑に行われるように支援していく。



省エネで明るくなります

Q 「ご当地ナンバープレート」の導入を
A 調査研究していく

【質問(議員)】 まちづくりに一役担うべく、原付バイクなどの「ご当地ナンバープレート」の研究・公募・導入をしてはどうか。

【答弁(町長)】 先進地事例などを参考に、本町のPR手段としての効果などについて、調査研究していきたい。

Q レジャー農園の利用期間改善を

【質問(議員)】 利用期間の改善を図っては、限られた種類の栽培しかできないこともあった。

【答弁(町長)】 現在の利用期間一年では、限

るため、今後、利用期間などについて検討していきたい。

Q 歩道走行の安全確保を

【現在検討を行っている

【質問(議員)】 自転車の歩道走行の安全確保をどうしていくのか。

【答弁(町長)】 新しい基準が県の道路事情にそぐわないなどの理由から現在検討を行っている。今後、警察の判断を待って対応策を検討したい。



支援します

多田 雄一 議員
庁舎問題

Q 県合同庁舎跡地に新庁舎を

A 駅南口以外考えていない

【質問(議員)】 先の町長選挙の結果で、合同庁舎跡地を主張された他の二候補の得票が、五千票と町長より多かった。これは町民の意思と考えるがどうか。

【答弁(町長)】 選挙の結果がすべてであり、他の候補の得票について考えることは無意味である。

【質問(議員)】 議会の反対が多い駅南口に、なぜ固執されるのか。

【答弁(町長)】 選挙で信任を得たと考えているので、信念を持って進めていく。

Q ボランティア活動への支援を

【A 自主自立できるよう支援する

【質問(議員)】 まちづくりにボランティアの役割は欠かせないものとなっている。今後どのように支援していくのか。町内ボランティアとの連携を図ってはどうか。

【答弁(副町長)】 まちづくりに必要であると認識している。自主自立できるよう指導助言することで支援する。連携については、住民活動センターを中心に今後検討する。

佐中 十九昭 議員
新庁舎候補地

Q 折衷案として県庁舎を提案する

A 候補地とする考えは無い

【質問(議員)】 この四年間庁舎建設で慎重審議してきたが何の進展も無い。もうこれ以上町政を停滞することは許せない。議会は、県海田庁舎という折衷案を決めた。町長も歩み寄って打開をすべきだ。

【答弁(町長)】 新庁舎の候補地は先の町長選挙の争点の一つであった。駅南口が最もふさわしいと訴えた結果で当選した。公約どおり駅前に着手する。

【質問(議員)】 「JR西日本は共同方式の考えは無い」とし、海田広報や四小学校区内で説明した内容は白紙に戻っている。費用も約九億円増で、説明なしで選挙している。

【答弁(町長)】 ある程度、計画の内容を煮詰めてから説明する。

その質
●海田市駅前整備と区画整理事業について



この折衷案をのめんのですか！
4年間もこれ以上町政が停滞することが許せん！

折衷案を提案しました



あったらいいなー！

大江 康子 議員
わんわんスペース

質問（議員） 町民の平等性の観点から、広島市のように、犬をリードから放して遊ばせることができるわんわんスペースを海田町でも検討する考えはないか。

答弁（町長） 限られた面積の公園を、子どもたちを始めとする住民の皆様に提供していることから、わんわんスペースまでの確保はできないと考えている。

質問（議員） 百平方メートルの広さで十分なので使用されていない公園や総合公園の一角でも可能ではないか。

答弁（副町長） 自治会、PTA要望で犬を相容れる社会になっていない。空い

ているスペースにすると住民感情もある。政令指令都市でもやっと一カ所なので時期尚早と考える。

Q 小・中学校の連携は

A 九年間を通じた教育を展開する

質問（議員） 小学校と中学校では学校生活のルールの対応が随分違うようだが。

答弁（教育長） 児童生徒の発達段階に応じた学校の決まりに従って指導している。海田町では小中一貫教育を推進し、生徒指導においても学校での五つの約束・家での六つの約束を定め、小中一貫した指導をしている。

その他の質問

●国信地区の生活道路の進捗状況について

下岡 憲国 議員
循環バス

Q 三迫三丁目へのルート延伸を

A 路線バスとして認定されていない

質問（議員） 課題であった切返し無しでの転回が西中央橋で可能となった。早期の実現を。

答弁（町長） 現道の拡幅が必要である。

質問（議員） 別問題で、町内どこからでも医者、商業施設が集中する町の中央部へ直接アクセスする検討が必要ではないか。

答弁（町長） 既存の路線バスとの競合を避けるためにも検討しない。

Q 保育所建替えは国と整合を

A 難しい

質問（議員） 畝、西浜、幸の保育所建替計画は、政府が検討中の幼保一体化こども園計画と整合性があるのか。

答弁（町長） こども園は制度設計の段階であり、整合は難しい。

質問（議員） 私立幼稚園児の保護者に対する町の補助金は広島市に比べ少なく、増額の要望が町に出されている。どう対応するのか。

答弁（町長） 補助金の増額要望はもらったが、広島市以外とは同額であり、増額の考えは無い。



三迫の西中央橋付近



町営蟹原第1住宅

桑原 公治 議員
町営住宅行政

Q 高齢者が安心して暮らせる住宅の整備を

A 町営住宅長寿命化計画の中で検討

質問（議員） ひとり暮らしの高齢者の方々にとって、安心して暮らせる住宅の問題は大きな不安となっている。町営住宅に入居し、海田町に住み続けたいと願う高齢者の方への対策をどう考えているか。

答弁（副町長） 町営住宅の耐震化などと併せ、長寿命化計画の中で、そういった高齢者への対策を検討していく。また、県営住宅と一体となった形での対策も考えていく。

Q 町道に伸びた雑草の対策を

A 適切な維持管理に努める

質問（議員） 桜木踏切付近の町道二号線は、線路側から雑草が伸びており、通行車両に支障が出ている。その他の地域にもこのような状況が見られるが、どのように考えているか。

答弁（町長・副町長） JRに対して除草の依頼をしている。その他の地域も除草の実施や依頼をしているが、事故が起きてからの対策では遅いので、町として何ができるか検討するとともに、引き続き町道の適切な維持管理に努める。

西田 祐三 議員
電子自治体

Q 公民館などへ連絡所機能を

A 新たに東公民館で住民票などを交付

質問（議員） 電子自治体の推進に向けて、公民館などへ連絡所機能を持たせてはどうか。また、サービスの拡大を図ってはどうか。

答弁（町長・副町長） 住民サービスの向上を図るため、来年四月一日から新たに東公民館で住民票などの証明書を交付する予定。今後は、コンビニなどのサービスも研究する。

Q リスク回避の水道事業を

A 計画を再検討する

質問（議員） 地震による津波や液状化などリスク回避に向けた施設整備計画と財政計画の見直しを図ってはどうか。

答弁（町長） 現在、配水池の耐震二次診断を実施し、結果が出次第、再度各計画を再検討する。



東公民館で住民票などが受け取れます



歴史の地に建つふるさと館

西山 勝子 議員
畝 保育所 建設

質問（議員） ふるさと館は、海田町の文化と歴史を伝承していくために、昭和六十一年三月に歴史民族資料館建設基金条例を制定、三億四千二百万円を積立てて建設された。また、畝観音免の地域においては、縄文時代に人々が生活を始めて、日浦山城もあったと、町史に記されている。ゆえにふるさと館を解体し、保育所を建てるのではなく、他の地に建設すべきである。

答弁（町長） 町全体の施策の中で解体すると判断した。

Q 人口減少で町財政収支見直しは

A 県費、国費を十分に活用

質問（議員） 国勢調査の結果によると、五年前より人口が六百六十人減少した。地方交付税などに影響が出るが、今後の見直しは。

答弁（副町長） 国からの制度を十分に活用したい。

その他の質問 ●商品中古自動車の課税免除について ●発達障害について

宗像 啓之 議員
洪水対策

Q 避難場所が浸水するのでは

A 見直しを検討

質問（議員） 洪水時には相当量の雨量もあり、浸水地区内に避難場所がある。また、緊急物資も浸水するが、これらの対策は。

答弁（生活安全課長） 地域防災計画を見直す中で検討する。

Q 地元説明会は行ったのか

A 十月十一日に行った

質問（議員） 説明会の内容は。

答弁（町長） 三十一人が参加され、一部反対があったが、全体では、町の方針を理解されたと考えている。

質問（議員） 保育所の移転先であるふるさと館の機能移転に「千葉邸」だけでなく、仮庁舎に移転するつもり保健センターの建物を予定している。仮庁舎の移転が決まっていな



有効活用を



早いエアコン設置を

渡辺 善隆 議員
学校の空調整備

Q PFI手法の導入を

A 今後検討していきたい

質問（議員） 近年平均気温の上昇で、普通教室の室温が体温を超える場合もあり、対応が求められている。しかし、小中学校の普通教室すべてに空調機器を設置すると相当な費用を要するため、民間活力を活用するPFI手法（※）で空調整備をする考えはないか。

答弁（教育長） 今後、全教室にエアコンが必要な状況になった場合は、財政状況などを勘案の上、PFI導入について検討していきたい。

Q 「命を助ける授業」の実施を

A 計画的に学習している

質問（議員） 小中学校で心肺蘇生法などを学ぶ「命を助ける授業」を実施し、その経験をとおして「命の大切さ」や「人のために行動する素晴らしさ」の学習を進める考えはないか。

答弁（教育長） 体育科「保健領域」の学習で、ケガの手当てや応急処置について学習している。また、道徳などにおいても計画的に学習している。

※PFI手法とは、Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の略で、公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。

岡田 良訓 議員
津波対策

Q 対応は怎么样了

A 国・県の見直しを受けて対策をする

質問（議員） 東日本の地震と津波は河川を伝って何キロも遡上し、街を壊滅させた。東海や東南海の大地震で瀬戸内海まで津波が来れば町は大きな被害を受けるが、「津波対策の推進に関する法律」を受けて町の対応は怎么样了のか。

答弁（町長） 現在、国で被害想定の見直しを行っているので、国や県の見直しを受けて地域防災計画の見直しをして具体的な対策を講じる。

Q 放射能測定器の購入を

A 購入はしない

質問（議員） 福島原発の事故で放射能はすでに海と大気を汚染し、日本中に飛び散っている。町でも放射能測定器を購入して汚染の実態を記録しておく必要があるのではないか。

答弁（町長） 政府の発表では広島県内では人体にほとんど影響のない微量の放射能しか検出されていない。また、県で放射能測定地点を四カ所新設するので、町独自で購入はしない。

その他の質問 ●庁舎移転について ●自治会館・集会所の水道光熱費の町費負担について



いつ来るか分かりません



目標は1日1万歩(5km)

前田 勝男 議員
畝 保育所の建替え

Q 民間委託などを検討せよ！
A 現計画が最善策である
質問(議員) ふるさと館を解体して畝保育所を建て替えることは、税金の無駄遣いである。現保育所の入口付近の土地を借りるとか他の場所で用地を購入するとかまた、民間の保育所および幼稚園事業者と話し合いをしてはどうか。
答弁(町長) ふるさと館用地を利用して建替えすることが最善策と思う。周辺の土地を買ったりすることは考えていない。民間業者との協議は国の「子ども・子育て新システム」が具体化した時に考える。

Q 健康都市宣言をしてはどうか
A 健康増進計画の中で検討する
質問(議員) 県下第一号の健康都市宣言を行い、瀬野川河川敷に夜間照明を整備したり、二十四時間散策できるような町内一円の面整備をしないか。
答弁(町長) 健康で生活することは大変重要なことであると考えて。健康都市宣言を制定した自治体の状況を踏まえ、来年度策定予定の健康増進計画の中で検討していく。

その他の質問

- 合併浄化槽の町有化について
- 事務の簡素化について
- 放射能物質の調査について

崎本 広美 議員
町道6号線

Q 狭あい部分の改善を

A 地権者との協議を進める

質問(議員) 町道六号線の狭あい部分の改善を毎年要求してきた。その進捗状況はどのようになっているか。

答弁(町長) 現在、地権者が所有権移転に必要な書類を作成し、法的な手続に入っているので、手続が完了次第、地権者などとの協議を進める。

その他の質問

- 新庁舎建設候補地について
- JR海田市駅南口の区画整理事業は



この先狭い部分あり